

同窓会館 起工

目標額 1億円まであと1,400万円

残暑の厳しい折、会員皆様には、まずはご自愛のほど心よりお祈り申し上げます。日頃は母校のために格別なご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、同窓会館建設につきまして、去る5月15日(大安吉日)に起工安全祈願祭をとり行うことができました。同窓生の親睦の場として、また母校に学ぶ生徒達の補習やクラブ活動の場として、また地域に開かれた諸事業の場として、以て母校の一層の発展に寄与する、この建設理念を礎に第一歩を踏み出すことができましたことは、全ての会員皆様とともに喜びとするところでございます。

それにいたしまして、会館地権者の神尾房子様には、着工への諸条件が揃うまで、平成16年より12年間にわたり、私たちの我儘をお聞き下さり、大切な土地を保持していただきました。また、(株)春原木材様には、神尾様のご心遣いと我々の願いをよくご理解いただき、お掛けいただいたことに感謝するとともに、貴社の技術の粋を駆使され、安全に竣工い



格別なご協力に心より感謝を申し上げます 教育者としての長谷川五作先生(その五)

会長 赤地憲一(高17回)

「教育者としての長谷川五作先生(母校勤務・大正12年・1923年・昭和30年・1955年)」について書かせて頂いておりますが、去る6月の塩崎支部総会で「長谷川先生は博物館に興味を持たせて下さった第一の方である。話込みの知識ではなく、事実、実験を重んぜられ、大自然を見つめておられた。授業が面白いから欠席する生徒がいない」と語ってくれたのは、荒井芳久氏(高4回)です。母校が創立された大正12年(1923年)、東京府立5中から赴任された先生は、既に国内で知られたモデルの法則が世に出たのは1900年、日本に初めて「遺

伝学教科書」が出版されたのは大正4年(1915年)、そしてその翌年の大正5年(1916年)には既に信濃教育会「尋常小学校理科学習帳」に「モデルの法則が紹介されていることはまさに驚嘆に値する」と篠遠喜人博士が書かれています(註)これらも長谷川先生が編集委員に迎えられたことによるものです。

◆ 会員皆様の益々の活躍、ご健勝をお祈りして、また会館建設のご寄附につきまして、は、引き続きご協力を宜しくお願い申し上げます。

(註) 篠遠喜人「遺伝実験と遺伝教育の先駆者長谷川五作先生」長谷川五作先生著作選集(昭和43年、屋代高校同窓会編)

平成29年度総会開催

平成29年度同窓会総会は、5月27日(土)篠ノ井サトウ会館において、午後2時から支部長会に続いて開催された。来賓として、母校の森山弘之校長先生はじめ4名の関係皆様をお迎えして、また、南澤暁幸静岡岡支部長、飯島勇三学年理事(中学11回・97歳)ら、計83名のご出席をいただき盛況裏に開会となった。

同窓会館建設については、赤地会長から「会員の格別なご協力をいただき、去る5月15日に起工安全祈願祭をとりおこなった」こと等、その進捗状況が報告された。また懸案となっていた会費の値上げ(1,000円→2,000円)については、附属中開設に伴う母校への補助額増額や同窓会館建設に必要の維持費等の必要に鑑み提案され、慎重に審議された結果、平成29年度予算とともに満場一致で承認された。



〒387-8501 長野県千曲市屋代1000
発行所 長野県屋代高等学校 同窓会
電話番号 (026) 274-3310
ホームページ http://hatokai.jp.org
発行人 赤地憲一
印刷所 信長野プリントサービス

支部長退任者に感謝状

総会席上、28年度で退任された各支部長に、同窓会から感謝状と記念品(額縁)が贈られた。長年に亘り支部をまとめられ、組織の発展に寄与された各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

「一」支部名(順不同・敬称略)
【五加】中村豊明(高13回)【川柳】田中真雄(高11回)【雨宮】平林 暉(高9回)【中津】竹内義明(高11回)【東福寺】宮尾保雄(高7回)【東京】柿崎正義(高9回)【篠井】樋口徳治(中21回)

北澤俊美氏が講演



総会に続いて北澤俊美氏(高校8回、前参議院議員、第7・8代防衛大臣)による「旭日大綬章を受章して私の歩んだ道」と題する記念講演が行われた。高校時代の国語授業の懐旧談から、与党としての国会運営やわが国の防衛問題に至るまで幅広く語られた。とりわけ、平成23年の東日本大震災における救助活動では、自衛隊史上最大の10万人動員を指示されて未曾有の災害の指揮をとられたこと、また最近の北朝鮮情勢については懸念とともに、熱い平和への思いを語られた。

建設起工式行われる、棟上も7月6日

母校前の県道403号線南側に建設を計画している同窓会館について、建設等の契約が完了したことから、去る5月15日、建設地において起工式を行いました。

式には同窓会役員、支部長、設計・施工業者の春原木材(長野市松代町)の関係者など30名が出席し工事の無事を祈りました。席上、赤地憲一(同窓会長)からは「同窓会館は長年の悲願、母校の一層の発展に寄与する建設理念の下、起工式が挙行できたことは大きな喜び、地域を含め同窓会活動の拠点として有効な活用を図りたい」とあいさつがありました。

建物は木造2階建て、延床面積は約300平方メートルで、1階には事務室と大・小2つの会議室、2階には100人収容の多目的ホールを備え、同窓生の利用の

ほか在校生の補習、クラブ活動、各種相談等の場としての活用を図って参ります。工期は約7か月で平成29年12月中旬の完成を予定しております。

大雨の通り過ぎた7月6日(木)8日(土)の三日にわたって、同窓会館の棟上げが晴れやかに行われた。次々にクレーンで材木が釣りあげられ、槌音が響き、太々とした柱が梅雨の晴れ間の青空に聳え立った。完成は12月半ばの予定。これから約六か月に亘る工事の無事を祈りました。



平成28年度一般会計決算書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

収入金額	7,438,813円
支出金額	6,290,434円
差引残高	1,148,379円(次年度繰越金)

収入の部 (単位:円)				
科目	予算額	決算額	増△減	備考
1 繰越金	913,903	913,903	0	前年度より
2 入会金	1,680,000	1,680,000	0	6,000円×新入生280人
3 年会費	3,900,000	4,124,000	224,000	振込1,504人、支部2,620人
4 協力金	400,000	672,600	272,600	同期会ホームカミング寄付
5 頒布品	0	13,000	13,000	同窓会名簿、封筒等
6 雑収入	97	35,310	35,213	利息、会館予定地賃料、コピー代
合計	6,894,000	7,438,813	544,813	

支出の部 (単位:円)				
科目	予算額	決算額	増△減	備考
1 総会費	220,000	185,361	△ 34,639	定期総会・懇親会費補助、写真代、吹奏楽班御礼等
2 役員会費	40,000	33,873	△ 6,127	役員会、臨時支部長会、会報編集会議等
3 慶弔費	100,000	103,602	3,602	入卒業式生花代、転退職員饗別、電報代等
4 旅費	400,000	405,320	5,320	支部総会・ホームカミング協会出席交通費等
5 通信費	1,350,000	1,111,615	△ 238,385	会報「鳩」送料、ホームカミング案内はがき、電話料等
6 消耗品費	40,000	135,198	95,198	コピー用紙、事務用品等
7 電算処理費	35,000	30,650	△ 4,350	ホームページ、セキュリティ更新料
8 支部助成費	800,000	775,614	△ 24,386	会費還元金、支部総会祝儀等
9 事業費	1,700,000	1,490,974	△ 209,026	会報印刷、ホームカミング祝儀、大会出場補助、入卒業記念品等
10 事務局費	1,459,000	1,281,915	△ 177,085	事務費、人件費
11 繰出金	200,000	353,944	153,944	NPO「鳩の会」294,467円、特別基金会計へ59,477円
12 手数料	200,000	166,303	△ 33,697	年会費振込手数料
13 雑費	300,000	216,065	△ 83,935	事務局管理経費、複合機リース代等
14 予備費	50,000	0	△ 50,000	
合計	6,894,000	6,290,434	△ 603,566	

平成29年度一般会計予算書(案)

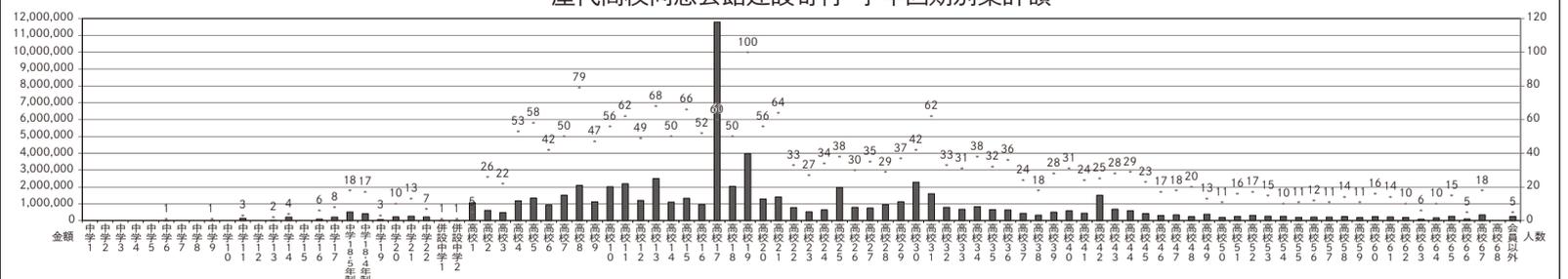
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収入金額	11,228,500円
支出金額	11,228,500円

収入の部 (単位:円)				
科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1 年会費	8,000,000	3,900,000	4,100,000	(支部2,550人+振込1,450人)×2,000円
2 入会金	1,680,000	1,680,000	0	6,000円×280人
3 協力金	200,000	400,000	△ 200,000	同期会、ホームカミング寄付
4 繰越金	1,148,379	913,903	234,476	前年度より
5 雑収入	121	97	24	利子、他
合計	11,028,500	6,894,000	4,134,500	

支出の部 (単位:円)				
科目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	備考
1 総会費	220,000	220,000	0	会場費、資料作成費、懇親会費補助金
2 会議費	40,000	40,000	0	月例役員会、会報編集会議等
3 支部助成費	1,350,000	800,000	550,000	会費還元、支部総会祝儀等
4 会報発行費	2,000,000	1,700,000	300,000	会報印刷代、郵送料等
5 入学・卒業記念代	350,000	(H28は「4」額を含む)	350,000	入学生、卒業生記念品代
6 「鳩の会」助成費	1,500,000	200,000	1,300,000	NPO「鳩の会」研修助成60万、会館維持90万
7 その他事業費	250,000	(H28は「4」額を含む)	250,000	大会出場補助、ホームカミング祝儀、他
8 慶弔費	120,000	100,000	20,000	香典、弔電、饗別
9 旅費交通費	450,000	400,000	50,000	支部総会、役員会等会議の旅費
10 雑給	1,900,000	1,459,000	441,000	事務局人件費、各種御礼、他
11 消耗品費	200,000	40,000	160,000	封筒、振替用紙、用紙類、事務用品
12 通信費	450,000	1,350,000	△ 900,000	はがき、切手、等。(H28は会報送料約100万含む)
13 電算処理費	40,000	35,000	5,000	ソフト操作指導料
14 事務局管理費	230,000	(H28は「10」額を含む)	230,000	光熱費、複合機リース代、他
15 手数料	200,000	200,000	0	年会費取扱手数料、振込手数料
16 特別基金会計積立	1,000,000	0	1,000,000	会館維持のため特別基金会計に繰出し
17 雑費	350,000	300,000	50,000	移転、他。(H28は光熱費、リース代等)
18 予備費	378,500	50,000	328,500	
合計	11,028,500	6,894,000	4,134,500	

屋代高校同窓会館建設寄付・学年同期別集計額



ご寄付お振込みは左記口座へ
振込先 ゆうちょ銀行
00580191102507
屋代高等学校同窓会館建設基金
お願います。



節目の年を迎えて

校長 森山弘之

赤地憲一同窓会長をはじめ同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解とご支援をたまわり心より感謝申し上げます。五月十五日には、同窓会館の起工式も無事終了し「魂の故郷 やしろ」も、より一層充実・発展すること、心よりお慶び申し上げます。

さて、本校は四月六日の入学式において、中学生八十名、高校生二百八十名の新生を迎え、本年度のスタートを切りました。今年度は中高一貫生も一生涯から高生まで揃い、年度末には高校からの普通科・理数科の生徒とともに、最初の卒業生を送り出すという節目の年になります。その進路状況に期待が集まると同時に、普通科・理数科を含めた、屋代高校全体の真価が問われる年です。そこに繋がると、この三月に卒業した生徒の状況を見ますと、卒業式が終わった後の三月中旬の国立後期試験まで粘り強く頑張り、例年と変わらない進路実績を上げてくれました。

また、世界で活躍するサイ

エンスリーダーの育成を指すSSH関連事業においても、様々な大会、コンテストにおいて優秀な成績を上げております。三月下旬に開催された「知の甲子園全国大会」では、全国五百チームがエントリーして競う中、本校の高校生チームが優勝、準優勝、附属中チームが四位、五位、七位という、前年度を上回る素晴らしい成績を上げました。班活動においてもその活躍は枚挙にいとまがありません。正に、本校の校是となっている「質実剛健・文武両道」の伝統をしっかりと引き継ぎ、具現化してくれたと考えています。

本年度も、この伝統をさらに充実、発展させ、将来、社会や人々のために貢献できる、人間性豊かな人材を輩出できるように、チーム屋代として最大限の努力を注いでまいりますので、変わらぬご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

結びに、屋代高校同窓会の益々のご発展を祈念してご挨拶いたします。

28年度卒業式・29年度入学式報告

高校第68回の卒業式は、平成28年3月4日に行われ、283名の若鳩が母校を後に、大空へ飛び立って行った。これで卒業生の総数は24,551名となった。

また、附属中学の卒業式は3月16日(木)に挙行され、卒業生78名が屋代高校に進学した。



平成29年度の入学式は4月6日(木)に挙行され、附属中学校80名、高等学校280名が、晴れて「鳩が丘」の一

員となった。赤地同窓会長の祝辞の後、丸山皓之氏(高58回・東京芸術大学卒)の校歌独唱があり、華やかな式に花を添える演出となった。草川信の名曲とともに作詞者佐竹盛富先生の「魂のふるさと屋代」の伝統を受け継ぎ、先輩たちに続くこととする生徒たちの、日々の生活が充実したものとすることを祈りたい。

全国的に少子化で入学人数が減少している昨今、附属中・高校への入学者と保護者で盛況な入学式となった。

母校現況 後輩の活躍

現役生・既卒生共に健闘

キャリア教育係 宇都宮 仁

新課程入試移行2年目の昨年度入試では、センター試験や個別試験、私立入試でも「思考力」や「判断力」を問う「新テスト」を意識した出題が増加した。本校の志望動向は、教育系、理工系への志願集中に加え、文系の人気回復から、人文、経済、法律系の志願者が増えた。首都圏私大への進学傾向も微増しているが、「地元・近県国立大」指向は年々強まっており、地元信州大への受験者数は、推薦、前期、後期日程合わせて120名を数えた。

進学実績は、現役生では北海道1、東北2、筑波2、東京外語1、東京工業1、名古屋1、京都1の難関大合格に加え、信州大35、富山13、金沢8と県内4位の国立大合格者数114名を数えた。また、既卒生も健闘し、群馬、弘前、産業医科大学、東京医科歯科・歯学科などへ合格を果たした。

屋代生は「三兎(勉学・班活・学校行事等)」を全力で追うことで「自立と自律」の質実剛健の精神を身につけ、受験においてもその集大成として進路実現を成し遂げている。今後の課題は、さらに高い目標への挑戦と、各自が設定した第一志望校合格の実現を、ひとりでも多く成し遂げることである。

2017年度入試 屋代高等学校結果(現役・既卒生 延べ合格者数 大学別)(4.17現在)

1. 平成28年度入試 合格者数			2. 国立大学合格者数			3. 私立大学合格者数					
校種別統計	現役	既卒	合計	国立大学	現役	既卒	合計	私立大学	現役	既卒	合計
国立大	94	36	130	青森立大	1	1	2	関東学院	1	2	3
公立大	20	7	27	北海道	1	1	2	獨協医療	1	2	3
国立大計	114	43	157	北海道教育	1	1	2	国際医療福祉	3	3	6
私立大	279	171	450	弘前	1	1	2	京都女子	2	2	4
短大	16	0	16	東北	2	2	4	高崎健康福祉	2	2	4
専門学校等	5	0	5	秋田	1	1	2	東京理科	2	2	4
				茨城	3	2	5	明治	6	10	16
				筑波	2	2	4	文教	14	14	28
				宇都宮	1	1	2	東京農業	11	3	14
				埼玉	4	4	8	中央	5	9	14
				福島	1	1	2	獨協	9	3	12
				千葉	4	2	6	専修	7	5	12
				群馬	2	1	3	日本	7	4	11
				新潟	2	2	4	駒澤	8	2	10
				東京医科歯科	1	1	2	近畿	3	7	10
				東京外国語	1	1	2	同志社	6	2	8
				東京学芸	1	1	2	國學院	6	2	8
				東京工業	1	2	3	立教	6	1	7
				東京農工	1	1	2	神奈川工	3	3	6
				横浜国立	2	1	3	成蹊	3	3	6
				金沢	8	2	10	成城	2	4	6
				山梨	3	3	6	神田外語	5	5	10
				山梨	3	3	6	明治学院	5	5	10
				信州	35	6	41	金沢工業	4	1	5
				名古屋	1	2	3	松本	4	1	5
				静岡	3	3	6	東京女子	4	1	5
				愛知教育	1	1	2	神奈川	2	3	5
				京都	1	1	2	青山学院	4	4	8
				奈良女子	2	2	4	名古屋学芸	4	4	8
				広島	1	1	2	東京電機	3	1	4
				高知	1	1	2	新潟医療福祉	2	2	4
				国立大計	94	36	130	工学院	1	3	4
								横浜薬科	3	3	6
								調剤東京理科	1	1	2
								大妻女子	1	1	2
								大正	3	3	6
								順天堂	3	3	6
								帝京科学	3	3	6
								東京工	3	3	6
								立正	3	3	6
								常葉	2	1	3
								早稲田	2	1	3
								清泉女子	2	1	3
								学習院	1	2	3
								私立大計	279	171	450

*計は現役・既卒とも他大合格を含む

ハンドボール班(男女)・槍投げインターハイへ

6月3・4日に千曲市にて行われた県大会において、ハンドボール班が、男女ともに優勝(十年ぶり)して、8月に福島県で行われるインターハイに揃って出場を決めた。

悲願のアベック優勝

3年4組 宮澤 文香

悲願のアベック優勝を掴み取るまでの道は長く、平坦なものではありませんでした。自分達の代になって初めて迎えた県大会の新人戦では、男女共に2位。目標に掲げるインターハイ出場に向け、冬期は走り込みとトレーニング中心の練習が続き、(優勝した今から思えば、この冬期トレーニングと3月の合宿、練習試合が効いたと思います)。

北信大会を経て細かいプレーのズレを修正し、万全を期して迎えた県大会。決勝の相手は男女とも長野南高校。決勝戦には大勢の方が応援に駆けつけて下さり、会場の盛り上がりは最高潮に達しました。

そして、優勝！それも男女アベックで。十年ぶりなことだそう。全国でも勝ち進めるよう、これから一層練習に励んでいきます。応援、

ギター・マンドリン班 全国大会(大坂)へ

本当にありがとうございます。

陸上(槍投げ)の坂本敦士君(3年7組)は、県大会を2位で通過して、北信越大会に駒を進め、この大会で5位入賞を果たし、晴れて全国大会(山形県)に出場が決定した。槍投げ競技は7月30日、山形県天童市で行われる。また、20年以上連続で全国大会に出場しているギター・マンドリン班は今年も出場を決めた。

文学部県大会優勝!

「俳句甲子園」

6月10日に長野県教育会館で行われた「第20回俳句選手権大会長野県大会」(通称「俳句甲子園」)で、本校のAチームが優勝(四回目)の出場で悲願達成した。8月18日・21日に愛媛県松山市で開催される「俳句甲子園」に出場することが決まった。準優勝は本校Bチーム(3年4組)。「牛乳の一ミリぬるい今朝さん(3年4組)」の「牛乳の一ミリぬるい今朝さん(3年4組)」が最優秀作品賞は宮下美羽さん(3年4組)は二年連続で最優秀賞に輝いた。

俳句甲子園(全国大会)に臨んで

班長 3年7組 坂野 萌恵

私たち文学部は、四年前から俳句甲子園の県予選に出場してきました。そこで必要なのは「俳句の質」は勿論、自分たちの句の長所を主張し、相手の句の短所を衝いて優劣を競う「ディベート力」です。今まではこのディベートの力が弱く、折角よい句を作っても一歩のところで全国大会を逃し続けていました。

そこで今年はディベートの練習に力を入れて本番に臨み、鑑賞力をつけることで全国大会への切符を手に入れました。

全国大会では更にハイレベルな句とディベート力が求められます。まずは一勝することを目指し、班員一丸になって頑張る所存です。応援よろしくお願いたします。

知の甲子園―屋高二連覇

平成29年3月4日、東京都にて「知の甲子園」の決勝大会が行われた。今回は高校1年の金井裕夢君と松本泰河君のチーム「BLOSSOMS」が優勝し、奨学金15万円を手にした。屋代高校は昨年度に引き続き、この大会2連覇の偉業を達成した。

「知の甲子園」とは、14、20歳の学生が2人以上のチームを組んで架空の商品の価格・生産・宣伝広告費・設備投資費・研究開発費を決めて会社を競うもの。MPIという売り上げや市場占有率などを競う。経営成果を総合的に鑑みた数値で競うといったもので、情報分析能力や意思決定能力が重要となる。

例年300以上のチームが出場し、決勝大会は昨年の10月末から12月に亘って行われた二次予選を勝ち抜いてきた8チームが出場。屋代高校からは昨年と同じ過去最高である5チーム(高校から2チーム、中学から3チーム)が出場。「BLOSSOMS」が優勝したほか、準優勝に「SPEED」。その他のチームが4位、5位、7位に入賞した。「鳩ヶ丘新聞」の記事を新聞班の了解を得た上で、編集部で再構成しました。

データビジネス創造コンテスト部門 優勝《全国2位相当》

3月11日に行われた第5回データビジネス創造コンテスト(慶応大学SFC研究所データビジネス創造ラボ主催)で、本校から参加したチーム「屋代HYW」(八巻潤哉君、渡邊美緒織さん、長谷天太君)は全国2位に当たる誘客部門で優勝。もうひとつのチーム「屋代TKW」も全国6位に当たる高校生賞を受賞した。

ヤマト経営セミナー 東日本優勝

第11回ヤマト運輸高校生経営セミナーで本校のチーム(秋山航君、伊藤佑太君、曾根健太君、八巻潤哉君、渡邊美緒織さん)は、「お客様利用性向上のための新サービス企画」キーマンはフルデジタル化のテーマで全国18チームが競う中、東日本優勝に輝いた。

藤村文学賞・高校の部

田中ゆめのさん最優秀賞受賞

鳥崎藤村にちなむ「第23回小諸・藤村文学賞」(小諸市・市教委主催)で本校2年3組の田中ゆめのさんの「『宝物』の行方」が最優秀賞を受賞した。応募総数2659点の中で最高の栄誉である。昨年の中学生の部(応募時は屋代中学3年)に続く2年連続の受賞。(※特別寄稿は第四面に掲載してあります)

中学生特集

棚田米のおにぎり 姨捨棚田体験学習を終えて

2年A組担任 垣内孝康先生

附属中学校では、同窓会のご協力の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下、毎年2年生が姨捨の棚田の下...

Heart is the most important!

英語科 岡庭 亜澄 先生



3月5日、私たちはニュージーランドへ向けて旅立ちました。12時間という長いフライトを終え、飛行機を降りると、そこは夏でした。今回は20年ぶりの大雨により、青いビーチに、緑の牧草地という光景を眺めることはできませんでしたが、過ごしやすくて1週間でした。

ホームカミング鳩会・同期会・支部総会

平成29年度開催予定

Table with 2 columns: Date (平成29年) and Event Name (e.g., 卒寿鳩会, 高24回, 高25回, etc.).

高校第25回(四八鳩会)

期日：平成29年2月10日(土) 場所：ホテルメルパルク長野 人数：48名



高校第19回同期会

期日：平成29年6月7日(水) 場所：上山田温泉うめむら 人数：37名

支部総会

期日：平成29年2月16日(木) 場所：ホテル信濃路 人数：56名(含来賓6名)



赤地会長、高山副会長、徳永事務局長、学校からは森山校長先生、そして高橋宏、小川修一の両副議長議員をお迎えし、盛況に開催しました。

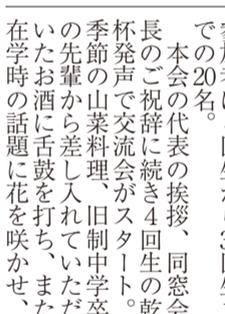
交流会は和やかに進んだ。終盤は合唱部で活躍された5回生の合唱指導による校歌斉唱や元会伴員による演舞(?)が披露され、遠くから再開開催を期待し閉会した。(報告 橋詰義達)

上山田支部

期日：平成29年4月23日(日) 場所：上山田温泉「ダ・クイ」 人数：10名

稲荷山支部

期日：6月17日(土) 場所：稲荷山温泉杏泉閣 人数：12名



川柳支部

期日：平成29年6月18日(日) 場所：サトウ会館 人数：14名

殖生支部

期日：6月10日(土) 場所：殖生公民館 人数：10名

塩崎支部

期日：6月18日(日) 場所：サトウ会館 人数：15名



東京支部東京

期日：2月25日(土) 場所：主婦会館ラザエフ 人数：78名

鳩16回

第31回を迎えた16回生のコンペが4月18日、長野県急Cで行われた。成績は以下の通り。



- 優勝 町田和夫 (GR 89)
優位 寺沢欣哉 (同 86)
三位 小林 武 (同 94)



本総会の模様は東京鳩会のホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。(報告 伊東博道(高20回) 役職 総務担当幹事)

特別寄稿

藤村文学賞
二年連続最優秀賞を受賞して

2年3組 田中ゆめの

この度は「小諸藤村文学賞」の高校生最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。この知らせを受けた時は、本当に信じられませんでした。しかし、家族や周囲の方々がとても喜んでくださり、ありがたく思いました。今回の受賞作「宝物」の行方では、私が小さい頃から慣れ親しんできた屋代田んぼへのシヨッピングモール誘致について、私が考えることを書きました。

屋代田んぼは米作りが始まったような時代からずっと守り続けられてきた条里制水田です。「千曲かるた」という千曲市の名所が登場するかるたにも、屋代田んぼの札があります。それほど屋代の人々に愛されてきた田んぼなのです。

私は今でも毎週のように森將軍塚古墳に登ります。頂上から見る屋代田んぼは季節ごとに緑色や金色に姿を変えます。私はそれを見ることが古墳に登るときに楽しみなのです。また、私は小学生のころ、屋代田んぼで玉ねぎの収穫体験をしたり、米や麦を作ったりしました。そういった形で、屋代田んぼは自然の力や食べ物物の大切さを私たちに教えてくれるもの(場所)でした。だから、この広びろとした田んぼは、シヨッピングモールよりもずっと価値のあるものであり、これからも守り続けなければならぬと私は考えたのです。

シヨッピングモール誘致は、「観光客や人口の増加の面で期待ができ、生活が便利になるので賛成だ」という人の方が多いかも知れませんが、でも、よく考えてみてください。もし、そのシヨッピングモールがどこかの町のものと同じような品揃えの、特にお客さんが惹かれるものがないような無個性のものも売るのでしたら、わざわざ歴史ある、屋代の人々が愛してきた田んぼを壊してまで建てる意味はあると思いますか？私はそれは屋代の「宝物」を捨ててしまうことだと思っております。私は今の屋代田んぼが大好きです。でも多くの人が読んでいただき、ぜひ自分の町の「宝物」を大切にしたいと思っています。

(受賞作「宝物」の行方)は、版權が藤村文学賞を主催した小諸市にあるため、そのまま掲載することができず、今回は受賞の感想等を書いていただきました。なお、田中さんは千曲市立屋代中学校三年生(高校一年生時)も最優秀賞を受賞しています(事務局)

訃報

諏訪善太夫氏 (第4代会長・中14回)



4月24日。平成13年から同15年まで会長を務められ、特に創立80周年記念事業の遂行に尽力された。

富岡 武子様

4月28日。96歳。一千万円奨学育英基金創設者、故富岡直衛氏(中13回)ご令室

中澤正巳先生(元母校教諭)

7月7日。88歳。昭和25年から昭和55年まで30年間にわたり母校に勤務され、長野県高校ハンドボール界の草分け的存在であられた。

平成28年度末 人事異動 (敬称略)

内部での異動

Table with columns for 転出(異動)・退職者 and 転入(異動)者. Includes names, positions, and dates.

会員計報(敬称略)

平成29年6月7日現在 謹んで哀悼の意を捧げます。

Table with columns for member names, birth dates, and death dates.

叙勲受章者

次の方が受章の栄に浴されました。誠にありがとうございます。

平成28年度秋の叙勲

旭日小綬章

安藤 公裕氏(高13回) 東京都品川区

平成29年度春の叙勲

旭日小綬章

下崎 保氏(高8回) 千曲市稲荷山

旭日単光章

若林 健二氏(高16回) 千曲市上山田温泉

佐久間方三(高5回)

中澤 光男(高9回)

毛利 宣照(高15回) 他

幕末に人材を育てた「松代三山」一碑文に見る鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山(松代地区住民自治協議会)

幕末の松代藩出身の偉人「松代三山」と言われる鎌原桐山・山寺常山・佐久間象山を顕彰する碑文(漢文)の原文を丁寧に写し取り、「訓読」「通釈」を施し、「余聞」「年譜・年表」を付してある。多くの方々の協力を得て成った、極めて密度とレベルの高い力作である。(相談役・徳高芳夫)

徳武 正人(高7回)

「繊維の歴史とよもやま話」(ブックオフ)

現職の頃、主に繊維関係の立案や施行に携わった著者が、その経験を通して得た知識を著した本。人類が昔からまとってきた繊維の長い歴史と併せて、繊維に関わる興味深いエピソードがまとめられている。今は懐かしい養蚕にまつわる話も多く、改めて歴史の面白さを感じることができ一冊。(副会長・栗林秀夫)

中條 高德(中18回)著 『日本人の気概』(致知出版社) アサヒビールの『奇跡の復活』を成し遂げ、代表取締役会長、特別顧問、名誉顧問を歴任した著者の最晩年の、日本人に贈る日本人論。(著者は平成26年12月24日に亡くなられた。)

中條氏からは、図書館の方に新刊書が発行されるたび贈呈していただいていたまじりました。以下に書名を掲げ、御礼に代えさせていただきます。

- 「勝つためにすべきこと」(経済界)
「兵法に学ぶ」(経済界)
「孫娘からの質問状 おじいちゃん日本のことを教えて」(致知出版社)
「孫娘からの質問状 おじいちゃん戦争のことを教えて」(致知出版社)
「おじいちゃんのわが闘争」(致知出版社)
「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)
「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)
「子々孫々に語りつぎたい日本の歴史」(致知出版社)
「靖国のことを語ろう」(WAC)
「誘れる国」(WAC)
「小が大に勝つ兵法の実践」(WAC)
「陸軍士官学校の人間学」(講談社+α新書)
※なお、作家内田英之氏による『事の成るは成る日に成るにあらず』アサヒビールの奇跡―小説―中條高德」という作品が同窓会に寄贈されました。(編集委員 中津佳津恵)

66号訂正

★三支支部総会報告の稲荷山支部支部長「山崎敏男」氏の「山」の字が抜けておりました。お詫びして訂正致します。



鳩の目

附属中も高校も学年通信を発行している。或る学年のコラム担当者、かつて授業で「愛は所詮、自己愛である」と語ったところ、看護系志望の女生徒が納得いかないと嘸みつけた話を記していた。様々な「愛」の形を経験する中から、教師が「所詮」という語に行き着いたことを、その時の女生徒はまだ理解していない。但し「嘸みつけた」とことは大事なことだ。教師の仕事は、答えを示すことでも覚え込ませることもない。考えの契機を与えること。生徒はそれを自身の問題として捉え、掘り下げ模索しながら、自分なりの「答え」を見出し、いけばよい。かか的女生徒はどんな看護師になったのだろうか。「愛とは？」と尋ねてみたい。

事務局長から 寄付御礼とお詫び 今回の同窓会館建設に際しまして、二千三百余名(6月30日現在)の方々から多大なる御寄付をお寄せいただきましたこと、誠にありがとうございました。事務局では、その全員の方々に御礼葉書を送らせていただいております。しかし、振り込み用紙に記載された郵便番号、御住所宛てに御礼葉書を出しましたところ、何通かは宛て先不明等でご戻ってきております。原因は不明です。もし御礼葉書がお手元に届いておりませんでしたら、事務局までご一報いただければ幸いです。今後とも手違いの無いよう最善を尽くしてまいりますので、よろしく御願い申し上げます。

編集委員 徳高 芳夫(高19) 吉川 正徳(高22) 徳永 次男(高25) 中津佳津恵(高47)